



昨年11月に開催した議会報告会・意見交換会。4会場それぞれに設定されたテーマで議論を行いました。いただいたご意見は、これからのまちづくりに活かしてまいります。

## 12月定例会 12月1日～12月21日

### 主な内容

- 本会議のあらまし…………… 2
- 国への意見書…………… 2
- 質疑・討論・請願審査…………… 3
- 委員会審査…………… 4
- 議案の内容…………… 5
- 議会の動き…………… 6
- 審議した議案と結果…………… 7
- 一般質問…………… 8
- 10月臨時会…………… 13
- 平成29年中の議会活動…………… 13
- 議会報告会・意見交換会…………… 14
- 市長に提言・編集後記…………… 16

## 12月定例会

# 一般会計補正予算など

## 原案のとおり可決

### 本会議の あらまし

市議会12月定例会は、12月1日から12月21日まで21日間の会期で開かれました。

初日はまず、請願第8号「待機児童解消、保育士等の処遇改



年末の挨拶をする松永議長

善のための財源確保を求める意見書の提出を求める請願書」を教育民生委員会に付託し、続いて議案第78号から第96号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。次に香川県広域水道企業団議会議員の選挙を行った後、行財政改革特別委員長より審査の中間報告が行われました。

5日は、提出議案について4名が質疑を行った後、所管の常任委員会に付託しました。

6～8日、11日は17名が一般質問に立ち、市政全般についてたどしました。

常任委員会は12日に教育民生と都市経済、13日に生活環境と総務委員会が開かれ、議案と請願を審査しました。

21日の最終日は、各常任委員会に付託していた議案と請願の審査結果について、各委員長から議案はすべて原案承認、請願

は採択との報告がありました。

1名が請願に反対、1名が請願に賛成する討論を行ったことに伴い、議案と請願を分離して採決を行いました。まず、議案を全会一致で可決した後、請願について起立による採決を行い、賛成少数で不採択としました。

次に議案第97号から第104号が提案され、1名が議案第97号ほか2議案について反対の討論を行いました。討論のあった3議案を分離して起立による採決を行い、賛成多数で可決しました。残る5議案は全会一致で可決しました。

次に議員提出議案第3号「政務活動費の交付に関する条例の一部改正」を可決しました。

続いて意見書案2件の審議を行いました。意見書案第1号「衆議院小選挙区の区割りの見直しを求める意見書」について1名が反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決しました。意見書案第2号は全会一致で可決しました。

最後に議員派遣第3号を可決した後、議長、市長の年末の挨拶があり、今期定例会を閉会しました。

### 香川県広域水道企業団 議会議員の選挙

香川県広域水道企業団（県と8市8町で構成）の議会議員に、次の2名の議員が指名推薦により当選されました。

横田 隼人 内田 俊英

### 意見書2件可決

① 衆議院小選挙区の区割りの見直しを求める意見書

市内で2つに分割されている衆議院小選挙区の区割りの見直しを求める  
(提出先)

衆議院議長 参議院議長

② 道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

国において長期的かつ安定的な道路関係予算の総額確保を行い、本年度末までとなっている道路財特法の補助率等の嵩上げ措置の継続を求める  
(提出先)

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 財務大臣  
国土交通大臣 内閣官房長官

議案に対する

# 質疑

4名が質疑を行いました

## 一般会計補正予算(第5号) 地方創生推進地域商社事業費

Q 大西議員 地域商社事業の目的、内容などの説明を求めます。

A 産業文化部長 地域の魅力ある製品の販路を開拓し、地域の稼ぐ力を高めることを目的とするもので、全国各地で実施事例がある。

本市では国の交付金を活用し、静岡県西伊豆町と共同で、首都圏及び海外への商流の確立を行いたい。

## 工事請負変更契約の締結 (市民会館解体工事)

Q 国方議員 解体工事になぜ追加金額が発生するのか。積算ミスではないのか。

A 都市整備部長 解体工事の設計は市民会館開館中の作業であったため、十分な調査を行うことができなかった。解体作業中に発見されたアスベストや閉館

後の調査により確認されたPCBの処分などに追加費用が発生するものである。

## 自転車の安全利用に関する 条例の一部改正

Q 神田議員 丸亀駅北側などは放置禁止区域の境界がわかりにくく、トラブル発生が危惧されるが、どう対処するのか。

A 都市整備部長 放置禁止区域を表示した看板の設置や分かりやすい地図のホームページ掲載、通勤・通学客など駅利用者へのチラシ配布などで周知を行い、トラブルの発生を減らせるよう努める。

## 介護保険特別会計補正予算(第2号) 総合事業への移行の現状

Q 中谷議員 当初予算とどの程度の違いがあつての補正か。また、地域支援事業への移行の現状をどう捉えているのか。

A 健康福祉部長 介護予防サービス給付費は見込みを超えて前年の10%強の伸び、一方の地域支援事業費は見込み額の75%程度と推定され、減額となった。総合事業への移行は問題なく行っていると考えている。

# 討論

議案に  
賛成×反対の  
意見を表明します。



議案第97号 一般会計補正予算

(第6号)

議案第102号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

議案第104号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

《反対討論》 中谷真裕美

理由 市長をはじめとする特別職や議員の期末手当は人事院勧告に準拠するのではなく、報酬を据え置きとした前回の特別職報酬等審議会の答申を尊重して決めるべきである。

意見書案第1号 衆議院小選挙区の区割りの見直しを求める意見書

《反対討論》 加藤 正員

理由 意見書は現行の小選挙区制を前提とした区割りの見直しを求めているが、それは数合わせに過ぎず、選挙民の意見を反映したものとは言えない。

## 請願審査結果

待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書の提出を求める請願書

香川保育問題連絡会

代表 中田 耕次

《反対討論》 山本 直久

理由 政府は保育士の待遇改善など待機児童の解消に向けた施策を進めようとしている。今あえて地方議会から意見書を発信する必要は認められない。

《賛成討論》 中谷真裕美

理由 増加する私的待機児童の解消のため、本市も保育士確保の独自の取り組みを行っているが限界はある。国に財源確保を強く求める必要がある。

《審査結果》

起立採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

## 訂正

前号68号の常任委員会視察に関する記事に誤記がありました。お詫びして訂正します。

訂正箇所 15ページ上段

教育民生委員会本文4行目

(誤) 強化、学級活動等での  
(正) 教科、学級活動等での

## 委員会云審査

### 一般会計補正予算

#### 工事請負契約の締結など 各常任委員会で原案承認

本会議で常任委員会に付託された議案と請願は、12日に教育民生と都市経済、13日に生活環境と総務委員会が開かれ、市長や副市長、担当部課長などが出席し、審査を行いました。主な質疑・討論は次のとおりです。

### 教育民生委員会

**◎委員** 介護給付がこの1年で10%伸びているが、今後の見込は。

**▲健康福祉部** 今年度の伸び率は特別に大きかった。昨年度は高齢者人口の伸び率と同じ1%程度の伸びであった。次年度以降も高齢者人口の伸び率と同程度であると考えている。

**◎委員** 城辰保育所の建て替えで、規模を現在の110人から140人へ拡大する必要がある

のか。

**▲こども未来部** 南部地区の保育需要は高まっており、必要だと考えている。

### 討論

#### 城辰保育所園舎 新築関係議案

### 反対意見

10億円で140人規模の園舎を新築するより、工事を精査し、ほかの保育施設の改修を行うほうが待機児童解消に繋がるので反対する。

### 賛成意見

南中学校区で私的待機児童が発生している現状があり、本保

育施設の建設は必要である。工事費も安ければよいというものではない。

採決の結果、付託された議案はすべて原案承認、請願は採択としました。

### 都市経済委員会

**◎委員** 駅前の放置自転車対策として効果のある条例改正とするための具体策は。

**▲都市整備部** 駐輪場整理による駐輪スペース確保や美術館下の駐輪場への利用拡大を図るとともに、条例改正による罰則変更の周知などを行う。

討論はなく、付託された議案はすべて原案を承認しました。

### 生活環境委員会

**◎委員** 指定管理者と複数年で契約する意義は。

**▲生活環境部** 今回選定された福祉事業団は自主文化事業などを行っており、継続性を担保す

るためにも複数年の契約が妥当と思われる。

討論はなく、付託された議案はすべて原案を承認しました。

### 総務委員会

**◎委員** 売り上げの増加が見込まれるために予算の補正を行うが、予算編成時に売り上げ予測はできなかったのか。

**▲ポータル事業局** 他場のナイター参入などにより、昨年度の3割程度の減収を見込んでいたが、業界全体の売上げが伸び、他場のナイター参入の影響も予測より少なかった。

討論はなく、付託された議案はすべて原案を承認しました。

議会に関する意見・感想を募集します。



**【連絡先】**  
丸亀市議会事務局  
TEL 24-8828  
丸亀市大手町2-3-1

メールアドレス  
gikai@city.marugame.lg.jp

# 議案の内容

## ▼議案第78号 一般会計補正予算(第5号)

議会特別委員会の視察費用108万円、合併処理浄化槽の設置補助費用444万円、地元産品の販路開拓などに取り組む地域商社事業の経費2444万5000円、飯野苗木センターの樹木整理などに要する経費1451万3000円、台風21号により被害を受けた農地や農道の法面などを補修する工事費1000万円など

▼議案第79号 公共下水道特別会計補正予算(第2号)

災害対応に伴う一般職員の手当40万円を措置するもの

▼議案第80号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴い職員の給与及び手当90万円を措置するもの

▼議案第81号 介護保険特別会計補正予算(第2号)

システム改修に係る中讃広域行政事務組合への負担金366万円のほか、サービス利用者の増加が見込まれることから保険給付に係る負担金8000万円の追加計上、利用者の少ない地域支援事業の負担金4000万円の減額など

## ▼議案第82号 介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)

要支援者の増加によるサービス計画策定の委託料301万円のほか、人事異動に伴い給料など680万円を措置するもの

## ▼議案第83号 モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)

総売上上の増加が見込まれ、開催収入を244億8000万円、競走実施費を218億7079万5000円増額するとともに、広告宣伝委託料を500万円増額するもの

## ▼議案第84号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業期間の延長や再度の取得などに関する規定の改正を行うもの

## ▼議案第85号 市営住宅設置及び管理条例の一部改正

収入申告が困難な入居者の家賃の決定方法を定めるため、所要の改正を行うもの

## ▼議案第86号 市税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い所要の改正を行うもの

## ▼議案第87号 自転車の安全利用に関する条例の一部改正

放置自転車の移送費及び保管費の引き上げや原動機付自転車の放置に対する措置の追加など

の改正を行うもの

## ▼議案第88号 工事請負契約の締結(城辰保育所園舎新築工事)

▼議案第89号 工事請負契約の締結(城辰保育所園舎新築に伴う機械設備工事)

工事請負契約の締結について、議決を求めるもの

## ▼議案第90号 工事請負変更契約の締結(市民会館解体工事)

市民会館解体工事において、新たに確認されたアスベスト吹付材の撤去などに追加費用が発生したため、契約金額の増額について議決を求めるもの

## ▼議案第91号 委託協定の締結(浄化センター水処理施設建設工事)

建設工事の委託協定の締結について、議決を求めるもの

## ▼議案第92号 指定管理者の指定(広島デイサービスセンター、生涯学習センターほか1施設、塩飽勤番所跡、笠島まち並保存センターほか2施設)

平成30年4月から指定管理者にそれぞれの施設の管理を行わせるため、議決を求めるもの

## ▼議案第96号 町の区域の変更

地籍調査に伴い、境界を地形上明確にするため、西平山町、福島町、浜町の区域を一部変更するもの

## ▼議案第97号 一般会計補正予算(第6号)

▼議案第98号 公共下水道特別会計補正予算(第3号)

▼議案第99号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

▼議案第100号 職員の給与に関する条例の一部改正

▼議案第101号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

▼議案第102号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第103号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第104号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議案第97号、第104号は、法改正や人事院勧告に伴い、特別職及び一般職員の給与などに関する予算措置、条例の改正を行うもの

▼議員提出議案第3号 政務活動費の交付に関する条例の一部改正

旅費として政務活動費を支給する場合の額を変更するため所要の改正を行うもの

▼議員派遣第3号 議員派遣について



## 平成29年12月定例会 審議した議案とその結果

議案番号	議案第78号	議案第79号	議案第80号	議案第81号	議案第82号	議案第83号	議案第84号	議案第85号	議案第86号	議案第87号	議案第88号	議案第89号	議案第90号	議案第91号	議案第92号	議案第93号	議案第94号	議案第95号	議案第96号	請願第8号	
	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	審議結果	
議員名	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案同意	原案同意	原案同意	原案同意	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	不採択	
1 武田 孝三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
2 竹田 英司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
3 東 由美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
4 中谷真裕美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 大西 浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 香川 勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
9 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
10 川田 匡文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
11 真鍋 順穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
12 松永 恭二	議長のため採決に参加せず																				
13 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
14 横田 隼人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 小橋 清信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
16 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
20 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
23 水本 徹雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
24 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
25 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○：賛成、●：反対 —は除斥または欠席した者です。

一般質問

17人の議員が市の考えを問う



質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

川田 匡文

①丸亀駅周辺の整備②九番丁  
亀寿園跡地の活用③丸亀お  
城まつり

香川 勝

①丸亀市の生活排水処理計画②  
児童、生徒の不登校と若者の引  
きこもりの実態と市の支援③市  
長の丸亀市の未来計画

大西 浩

①教員の長時間労働解消策

内田 俊英

①「協働と政策達成」のための  
機構改革②企業との「連携協定」  
の実情と今後の方針③「京極発  
幸舞連」を丸亀市で育てよう

竹田 英司

①保育士等の子ども優先入所  
等に係る位置づけ②通学路グリ  
ーンベルトほか安全施設の整備  
③地域コーディネーターによる  
地域、学校教育現場への参画

大前 誠治

①交通事故防止②防災行政③定  
住自立圏の考え方

多田 光廣

①観光行政と街づくり②教育行  
政

国方 功夫

①水道広域化へ向けての本市の  
取り組みと事業②市内のため池  
の管理と耐震補強③お城の石垣

中谷真裕美

①平和行政について市長の政  
治姿勢②待機児童解消へ③  
「子どもの貧困」へ具体的対  
策を④「聞こえ」のバリアフ  
リー化

神田 泰孝

①健幸の日②学校給食にベジ  
ファーストを③救急出動④か  
がわ縁結び支援センターとの  
連動

議会を見に来ませんか

本市議会では、定例会  
が3月、6月、9月、12  
月の年4回開催され、本  
会議は通常午前10時に開  
会します。会議の当日、  
手続きをすれば、どなた  
でも傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ  
(TEL 24-8828)

真鍋 順徳

①防災行政無線屋外スピーカ  
ー(屋外子局)の増設と個別  
受信機の配備②国道438号  
バイパス建設を契機とした周  
辺整備等の対策及び地域指定  
の見直し③中心市街地活性化  
の具体策と現状

武田 孝二

①赤ちゃんふれあい事業②小  
学生の下校時の地域見守り安  
全パトロール隊の普及活動と  
地域指定の見直し③SIB  
(ソーシャル・インパクト・  
ボンド)を活用した丸亀創生  
横川 重行  
①児童生徒の食育・健康②大  
雨対策③2025年の医療・  
介護問題等

水本 徹雄

①丸亀城築城420周年企画を  
通しての今後の観光対策②市民  
のキーステーションを目指した  
図書館③「もったいない」の視  
点における丸亀創生対策④20  
20年東京オリ・パラにおける  
丸亀創生の進捗状況

横田 隼人

①計画道路②請願道路③こども  
未来計画

山本 直久

①西汐入川流域における浸水被  
害②ライフフルホームズ空き家バ  
ンクへの参加③先進安全自動車  
の本市単独補助④健康ポイント  
制導入⑤競艇事業の基金

## お城まつり 盛り上げの企画は

**Q 川田議員** 今年のお城まつりはデイズニーパレードがあり盛況だった。来年はどのような企画を考えているのか。また、最終日の総おどり参加者の増加を図れないか。

**A 産業文化部長** 大規模な企画は、お城まつりが70回目の節目となる2年後に行いたい。来年は一般参加型のスポーツイベントを検討中であり、大人から子供まで楽しめる魅力あるまつりとなるように取り組む。

総おどりの参加人数を増やすため、引き続き市内企業、団体などへの案内とともに、長期的なビジョンとして、学校教育を通して将来の参加者を育てることができないか調査研究を行いたい。

## 国道438号バイパス 地域への配慮は

**Q 真鍋議員** 国道438号バイパスの整備が進められているが、コミュニティセンター、保育所、小学校などが集合する飯

山南部地区において、利便性や安全面などへの対策をどう考えているのか。

**A 都市整備部長** バイパス整備に伴うコミュニティセンター移転計画の中で、市道五反地沖線の一部区間を、道路南側に歩道を配置した2車線道路として整備するほか、保育所出入口への影響が考えられる市道についても道路勾配や取り合わせなどの協議を県土木事務所と行う。

また、児童や高齢者への配慮として、県は歩道橋の設置を検討していると聞いている。



整備が進む国道438号バイパス

## 地域の見守り活動 状況把握と支援を

**Q 武田議員** 児童の登下校時の

見守り活動などを行う地域見守り安全パトロール隊の活動を維持していくためには、組織化を行い、市も関連部署が連携して状況把握するべきと考えるが、市の考えは。

**A 生活環境部長** 見守り活動は市民のボランティアで成り立っており、市は警察や関係団体と連携しながら活動に関する相談を受けるなど、地域の防犯力を高める取り組みを進めている。

今後も地域との連携を深めることで、パトロール隊の必要性や組織化が図れると考えている。

**A 教育部長** 小・中地域連携教育として、地域活動の担当とも情報共有を行っていく。

## 2025年問題 どう対処する

**Q 横川議員** 団塊の世代が75歳を迎えることで医療・介護などの社会保障費の急増が懸念される、いわゆる「2025年問題」に対し、市はどのような対策をとるのか。

**A 市長** 2025年問題は本市にとっても大きな課題と認識している。



元気いっぱい！長生き体操で体力向上を

## 成人の引きこもり サポート体制は

現在、平成30年度から3カ年を計画期間とする高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定中だが、その中で本市の将来像を想定し、持続可能な介護保険制度の観点からサービスの整備を行うとともに、将来に渡り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう地域包括ケアシステムを構築することとしている。

**Q 香川議員** 引きこもりの当事者が義務教育を終了している場合、市ではどの部署がどのようなサポートを行うのか。

**健康福祉部長** 福祉課、健康課を窓口として当事者やご家族の相談対応を行っている。昨年度、窓口で十数件の相談があり、当事者やご家族の意向も考慮した支援を行っている。

支援には家族へのサポートも重要であり、家族の負担が軽減されるよう丁寧な相談支援に取り組んでいる。

就労へのサポートは、就労意欲が出た場合には就労に向けてニート支援の機関に繋いでいる。

自立を促進するため、専門機関や関係機関と連携してサポート体制の充実に取り組んでいく。

## 「もったいない」の視点 市の施策に生かせ

**水本議員** 本来食べられるものが廃棄される食品ロスが社会問題となっている。行政においても利用されずに処分されるもの、放置されているものが多く存在する。それらを「もったいない」と見直すことで、本市にしかできない有益な取り組みができるのではないかと。

**市長公室長** 行政が施策を進める際に無駄をなくし、有効な

利用方法はないかと考えることは、限られた行政資源を有効活用するために必要な考え方である。

使い終わった子育て用品を貸し出す事業や空き家のリノベーションなど、もったいないという視点から取り組んでいる事業を今後も進めたい。

## 休止中の請願道路 再開の考えは

**横田議員** 現在、誓願道路の受け付けを中止しているが、事業は廃止かそれとも一旦休止か。また、事業費の見込みと受け付け再開の考えはないのか。

**都市整備部長** 請願道路は平成25年度末で受け付けを終了したが、現在工事を進めているものが平成31年度末で完了予定であり、これにより事業は廃止とする予定である。

平成26年度末で受け付け済み路線数は46、必要な事業費は7億円であったが、事業化する路線を27に整理し、事業費は3億4000万円となった。

生活道路の改良の要望などが寄せられているので、請願道路

事業以外の方法で応えられるよう検討を進める。

## 西汐入川流域の浸水対策 市独自の取り組みを

**山本議員** 9月の台風18号では西汐入川流域で床上浸水などの被害があった。西汐入川は県管理だが、市としても何らかの対応をとるべきではないか。

**市長** 西汐入川のポンプ場施設は、管理者である県は整備済みとの見解であり、今後の整備予定はないことから、抜本的な排水対策には本市独自の内水排除の検討が必要と判断しており、県下水道課との浸水対策についての協議や国へポンプ増設



台風による大雨で増水した西汐入川

などの陳情を重ねてきた。今回、国から補助金について前向きな回答が得られたので、浸水シミュレーションによる雨水流出解析を行い、費用対効果を考えた上で最も効果的な浸水対策を早期に実行したい。

## 教員の長時間勤務 改善の取り組みは

**大西議員** 教員の長時間勤務が問題となっているが、教育現場では勤務時間の適正な記録もできておらず、違法といえる状態である。本市では状況改善にどう取り組むのか。

**教育長** 教員の職務は部活動や放課後の対応など多岐に渡るため、長時間労働になりがちである。本市教育委員会の取り組みとして、勤務時間を意識した働き方を進めるため、現場の負担が少ない方法で退社時間が記録できるシステムを次年度4月から導入するほか、教職員が休みを取りやすくなるよう8月中旬に学校閉庁日を3日間程度設けるなど、教職員の長時間労働の解消に向け、学校現場を支援していく。

## 協働を進める 機構改革を

**Q 内田議員** 市民との協働を進め、政策課題をスピーディに解決していくために、市役所の機構改革を行うべきと考える。先進的な他市の事例を参考に、市民活動やまちづくり関連部門を市長直轄または単独の部設置とすること、企画部門に「経営」「戦略」「政策推進」の要素を強く掲げること、市民交流活動センターを意識したボランティア部局の準備などを提言するが、機構改革について市の考えは。

**A 市長公室長** 時代に即した行政課題への対応の観点から毎年度組織のあり方の見直しを行っているが、市民との協働を進め、市民ニーズを的確に把握した自治体経営が行える最適な組織の構築を進めたい。

## 学校と地域をつなぐ 地域コーディネーター

**Q 竹田議員** 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの養成が本市でも開設されている

が、地域コーディネーターによる地域と学校の連携について、市の方針は。

**A 市長** 子供の育ちや学びを地域ぐるみで支えていく体制づくりや地域人材の育成を行うため、本年度から地域コーディネーターの養成を開始した。養成されたコーディネーターには学校現場に参画し、現場のニーズと地域人材などを結びつける橋渡し役となり活動していただくが、市も行政の立場でフォローアップを行い、組織的に地域で子供を育む仕組みを整え、学校、地域が効果的な連携を図っていけるよう取り組みたい。

## 地域の自主防災組織と 消防団の連携状況は

**Q 大前議員** 地域での災害対応の中核は消防団が担うとされているが、地域の自主防災組織と消防団との連携はどのような状況か。

**A 市長公室長** 自主防災組織は、平時には地域の防災活動に取り組み、災害時には地域の復旧復興に向けた活動に取り組むことが期待されている。消防団は地

域防災力の中核として、あらゆる災害に対処する活動を任務としている。両者は地域の防災訓練などに連携して取り組んでおり、大規模災害などの非常時においても相互に協力機関として連携が図れるものと考えている。今後も両組織の意見を聞きながら、連携が図れるよう協議したい。



地域防災力の中核となる消防団

## 観光活性化の まちづくり

**Q 多田議員** 大手町の飲食街を活性化することで、観光客や宿泊客の増加が見込め、市街地活性化につながると考える。試験的に金曜日夜間にバスを運行す

るなど、活性化に向けた施策を行うてはどうか。

**A 産業文化部長** 丸亀城に近い大手町飲食街の活性化は、本市が目指す滞在型観光を推進する上で重要だと考えている。これまで観光協会と連携し、飲食店などで割引を受けられるクーポンの発行を行うなど活性化に努めてきたが、今後も官民が連携して大手町飲食街の活性化を含めた観光施策に取り組みたい。

金曜日夜間のバス運行については、採算性ほか様々な課題があり、今後の研究課題とした。

## 広域水道企業団議員 本市はなぜ2名か

**Q 国方議員** 県広域水道企業団議会議員に本市からは2名の選出とされたが、本市の規模を考えると少ない。これまでも2名では少ないと指摘してきたが、どのような経緯で2名となったのか。

**A 水道部長** 県広域水道企業団議会の議員定数及び各自治体からの選出人数は、全国の広域水道企業団や後期高齢者医療広域

連合などの組織を参考に準備協議会で協議され、まとめられたものである。本市は準備協議会などで機会あるごとに議員定数や企業団議会の運営について十分な検討を求める旨の主張をしてきたが、ほかの自治体から同様の意見はなく、当初事務局案のとおり協議が整った。

## 綾歌総合運動公園 未整備地の活用は

**Q 加藤議員** 綾歌総合運動公園未整備地を今後どうするのか。これまでの整備方針を決めず放置してきた姿勢から一歩踏み出し、方向性を打ち出すべきと考えるが、市の考えは。

**A 都市整備部長** 今後の整備方針には、①運動公園としての整備、②森林公園としての整備、③民間企業の利活用地とするこの3点が考えられるが、現時点では新たな雇用を生み出し税収の確保につながるなど本市にとってメリットの大きい民間企業の利活用をまず検討したい。これまで今後の整備方針に検討を加えていなかったことは問題だったと考えている。有効利

用となるよう最善を尽くし、早期に検討結果を報告したい。



綾歌総合運動公園の未整備地

## 待機児童解消へ 直ちに対策を

**Q 中谷議員** 平成31年度には解消見込みであった私的待機児童が反対に増えているが対策は。

また、私的待機児童の多い飯山地域において、老朽化した北第一保育所の建て替えを前倒しして定員増を図ること、南保育所の0歳児保育を再開することにより早期解消を図る考えは。  
**A ことも未来部長** 公立での0歳児保育の拡大、こども園移行による保育認定の受け皿拡大、保育士確保の取り組みなどによ

り待機児童解消に努める。飯山地域の施設整備は次期こども未来計画に明記する。南保育所の0歳児保育は、平成30年度入所児童数を把握のうえ、受け入れに必要な施設整備や保育士確保を検討したい。

## 縁結びサポート 市にも窓口設置を

**Q 神田議員** 結婚を望む独身者の出会い、結婚を支援するため、県はかがわ縁結び支援センターを設置しているが、利用するのは登録者が同センターもしくは県民センターに予約の上申しなければならず、利用しにくい。未婚化対策として、本市でも登録者を受け入れる窓口を設けてはどうか。

**A ことも未来部長** 登録者受け入れの窓口設置には、支援センター職員が常駐することや個人情報を取り扱うための安全性の確保ができるかなど、様々な検討が必要である。本市としても結婚を希望される方への支援は必要と考えており、窓口設置が可能か県や支援センターと協議を行いたい。

## 本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。  
中讃ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!  
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ **丸亀市議会** → インターネット中継(外部リンク)

クリック



10月臨時会

城坤コミュニティセンター  
改築工事関係  
議案を可決

議案を可決

10月27日、臨時会が開かれ、城坤コミュニティセンター改築工事に関係する議案を2件、審議しました。

議案は委員会への付託を省略して審議され、質疑、討論はなく、全会一致で可決しました。

議案の内容

▼議案第76号 一般会計補正予算(第4号)

城坤コミュニティセンター整備事業の工期変更により、次年度に繰り越して使用する経費の限度額を定めるもの

▼議案第77号 工事請負契約の締結(城坤コミュニティセンター改築工事)

株式会社丸井工務店を相手方に、工事請負契約を締結することに議決を求めるもの

平成29年10月臨時会 審議した議案とその結果

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	審議結果		
	武田 孝三	竹田 英司	東 由美	中谷真裕美	神田 泰孝	岡田 剛	大西 浩	香川 勝	三宅 真弓	川田 匡文	真鍋 順穂	松永 恭二	多田 光廣	横田 隼人	小橋 清信	横川 重行	松浦 正武	加藤 正員	山本 直久	大前 誠治	福部 正人	内田 俊英	水本 徹雄	国方 功夫	片山 圭之			
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

松永恭二議長は採決に加わっていません。

平成29年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況				
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会	協議会等
招集回数		4	2	6回	常任委員会	総務委員会	5	3
会期延日数		108	2	110日		教育民生委員会	5	6
本会議日数		28	2	30日		都市経済委員会	5	11
本会議日数		28	2	30日		生活環境委員会	5	3
議案議決内容	原案可決	100	2	102件	特別委員会	市庁舎及び市民会館整備等特別委員会	11	
	原案否決	1	0	1件		行財政改革特別委員会	13	
	専決承認	0	2	2件		議会改革特別委員会	9	
	その他	6	2	8件		予算決算特別委員会	12	
計	107	6	113件					
選挙・選任 請願 陳情 決議・意見書	選挙・選任	5	4	9件	その他	全員協議会	13	
	請願	7	1	8件		議会運営委員会	15	
	陳情	0	0	0件		各派会長会	11	
	決議・意見書	2	0	2件		広報広聴委員会	11	

市庁舎及び市民会館整備等特別委員会には、改選前の市庁舎整備等特別委員会を含みます。

# 意見交換会

丸亀市議会初の試みとして、  
常任委員会ごとにテーマを設定して  
意見交換会を行いました。



**高校生など  
多くの若者が参加**  
88名の参加者のうち、約30名が市内の高校、大学校に通う10代、20代の若者でした。  
議会から各常任委員会へ審査した内容の報告を行った後、意見交換会に入りました。  
政治について高校生が感じていること、疑問に思うことなどの率直な意見のほか、各高校が取り組んでいる政治参加教育が紹介されました。  
若者の政治への無関心が課題とされていますが、今回の

総務委員会

## 若者の政治参加

丸亀市生涯学習センター

11月13日(月)  
午後5時30分

意見交換会でいただいたご意見を参考に、我々市議会もより分かりやすく市民に開かれたものとなるよう努力してまいります。

### 会場アンケートのご意見

- 政治について調べようとしても、勉強や部活で忙しく難しい。市から情報発信を積極的に行ってほしい。(高校生)
- 政治に興味がある人もない人もいる。学校で政治教育をしてはどうか。(高校生)
- 議会だよりは分かりにくい。見ようと思えるものにする必要がある。(高校教員)
- インターネットを利用して18才未満の意見も聞けるようなシステムができればよい。(高校生)
- 勉強する場所にも困っている。商店街に自習室をつくれれば商店街の活性化にもつながるし、そこで政治参加の啓発もできると思う。(高校生)



**産業振興の取り組み**  
産業や観光の振興に関するテーマが設定された意見交換会には、市内企業や経済団体を中心に、52名のご参加をいただきました。  
これまでの意見交換会は、議員と参加者が対面する座席配置でしたが、今回は議員と参加者が車座となり、活発に意見交換を行いました。  
本市の経済・観光を支える参加者の方たちから、産業振興や観光振興の政策的な提言だけでなく、議会報告会・意見交換会という取り組みを開催して終わりにせず、次につなげる必要があるとの

都市経済委員会

## 地元企業の人材確保 企業誘致、丸亀市のイベント

四国Cスタ丸亀

11月14日(火)  
午後6時30分

ご意見をいただきました。いただいたご意見をまちづくりにかけるよう、議会としてしっかり取り組んでまいります。

### 会場アンケートのご意見

- イベントなどでお客様を呼ぶためには公共施設のトイレを清潔で安心して使えるものにする必要がある。
- 企業誘致においては、誘致対象企業の大きさ、業種などことに柔軟な支援を行うことや、定住自立圏域の行政が連携した誘致活動の推進を検討すべき。
- 愛媛県や島根県の取り組みを参考に、本市も人材確保の取り組みを拡充するべき。
- 内陸部での企業立地の希望も多い。大規模用地の情報や市有地の情報などを提供いただきたい。
- このような意見交換会はいいこと。運営方法などを改善しての次回を期待する。



# 議会報告会

生活環境委員会

## スポーツ振興

丸亀市民体育館

11月14日(火)  
午後6時30分

どの世代もスポーツに親しめる環境づくりを

地域でのスポーツ推進に携わる方など23名の方が参加し、スポーツ推進をテーマに意見交換会を行いました。

議会報告についての質疑応答の後、意見交換を行いました。

ほかの会場に比べて参加人数は少なかったのですが、その分参加者の意見を丁寧に聞



くことができたとおもいます。今回いただいたご意見を参考にしながら、市民が気軽にスポーツに親しめる環境が整ったまちづくりに取り組みたいと思います。

### 会場アンケートのご意見

● 地域でニュースポーツ推進に取り組んでいるが、丸亀はほかの市町に比べて道具も指導者も不足している。市も力を注いでいただきたい。

● かつて運動公園にテニスコートを16面整備するという計画があり、テニス関係者が待ち望んでいたものの進んでおらず、市にも当初の増設計画を知る人がほとんどいないという状況となっている。ぜひとも整備をお願いする。

● スポーツ少年団の指導を行っている。これからさらに指導に取り組みたい。市のスポーツ推進、強化につながる協力をしたい。

教育民生委員会

## 学校教育

飯山総合学習センター

11月21日(火)  
午後7時30分

### 教育現場での疑問・要望

小中学生の保護者など56名の方にご参加いただきました。特別支援学級の現状や老朽化が進む学校施設の状況など、保護者を感じている学校教育への疑問、要望など多くの意見を聞くことができました。

参加者から「学校に要望しても予算不足を理由に対応してもらえない」というご意見をいただきました。市の施策、事業には予算が必要であり、残念ながら全てのご希望に沿えないのが実情です。



議会では、皆様からお聞きした学校現場の問題点や現状を把握し、限られた予算でよりよい解決ができるよう取り組んでまいります。

### 会場アンケートのご意見

● PTA会費の使い方に疑問がある。本来、学校の公費で賄うべきものにPTA会費が使われているのではないかと。

● 子が特別支援学級に在籍しているが、支援員が不足しており、保護者が付いていないければならない現状がある。現状を知ってほしい。

● 垂水小学校は老朽化している。学校は災害時には避難場所にもなる。一度見てほしい。

● 給食費無償化の議論は進んでいるのか。

● 丸亀市のいじめの現状は、完全米飯給食を実現してほしい。

# 市長に意見書・提言書を提出

## 行財政改革特別委員会の 事業ヒアリングを踏まえた意見書

行財政改革特別委員会では、市の511事業から170事業を選定し、各担当部局にヒアリングを行い、その内容を踏まえて委員間で討議を行いました。

討議の結果、予算執行のあり方、事業の方向性など74の事業について出された意見を意見書として取りまとめ、市長に提出しました。

### 意見書の主な内容

#### ● 市民相談室の再構築

現在、ふるさと納税に関する事務も行っている市民相談室の役割を見直し、市民からの相談に特化したものとするべき

#### ● 防災アドバイザーの廃止

現在の形の防災アドバイザーの役割は終了したと思われるため廃止し、経験ある者の再任用等へ移行するべき

#### ● 敬老祝金・敬老会参加年齢の検討

高齢者の増加傾向を踏まえ、敬老祝金の減額、敬老会参加年齢の引き上げを検討するべき

#### ● 市民球場管理運営の民間委託

民間委託を早急に実施するべき



市長はじめ市幹部に意見書の内容を説明する行財政改革特別委員会委員

## 予算決算特別委員会の 決算審査を踏まえた提言書

昨年9月の定例会において、予算決算特別委員会では平成28年度決算の審査を行いました。

決算の審査結果を次年度予算に反映させるという「PDCA」サイクルの趣旨から、特別委員会全委員の賛同を得られた意見を提言書として取りまとめ、市長に提出しました。

### 提言書の主な内容

- 老人クラブ加入者の減少傾向が続いているので、実効ある対策を講じるとともに、社会福祉協議会への運営移転後も外部任せとならないよう市も見守ること
- 猪熊弦一郎現代美術館の運営手法について、市民や外部有識者の意見を取り入れるなど本格的な見直しを行うこと
- 離島住民の救急搬送の改善を図ること
- 17コミュニティのうち10しか存続していない婦人会の必要性、問題点などを洗い出し、真に機能する姿にするべく政策を練ること
- 児童数が多い青い鳥教室の支援員加配など改善を検討すること
- 0～2歳児の保育受け入れ体制を整えること



市長、副市長に提言書を手渡す松永議長、三宅副議長

## 編集 後記

平成24年に初めて開催した議会報告会も今年で6年目。これまで多くのご参加をいただき、丸亀の現在と未来についてたくさん語り合いました。

昨年11月の議会報告会では、広く市民の意見や思いをお聴きするため、初の試みとなる「意見交換会」を行いました。開催日を3日に分け、会場ごとに見交換テーマを変えて周知したところ、若い世代から高齢者の方まで大変多くのご参加をいただき、どの会場でも実りのある意見交換ができました。

今後、議会報告会・意見交換会をより充実した内容にするために、今回ご参加いただいた方からの貴重なご意見などを大いに生かしていきます。

「私たち一人一人の無関心。それが民衆の敵なんです」

この言葉は、昨年に政治をテーマにしたテレビドラマ「民衆の敵」の最終回で、市長である主人公が言ったせりふです。

たとえ小さなことでも丸亀市民として何ができるのか。この瞬間から共に考えましょう。

広報広聴委員長 水本徹雄